



電機連合神奈川地協 議長 2019年新春の挨拶



電機連合神奈川地協 議長

小島 隆洋

8月に開催されました定期大会にて、岡元前議長からのバトンを受け電機連合神奈川地協議長を拝命させていただきました小島です。2019年を迎えるにあたりまして、地協加盟労組の組合員ならびにご家族の皆様に対し、旧年中に賜りました地協の各種活動に対しますご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、定期大会以降、神奈川地協として、新たな役員体制、そして専門部等を見直した新組織体制のもと活動を開始しておりますので、引き続きのご支援をお願いさせていただきます。

電機産業は企業間のばらつきがあるものの、全体としては上向いています。一方、実質賃金は今も伸び悩み、生活面での実感は少ないという状況であり、電機連合としては、2019年闘争において6年連続の賃金改善に取り組む方針としています。更に、第196回通常国会で可決された「働き方改革関連法」に沿った対応の協議が重要となることもあり、全般的に厳しい交渉が想定されますが、統一闘争のもと、組織の連携をはかり乗り切っていきましょう。

一方で、組織連携といえば組合員の皆様の生活向上のため、企業内では対応できないことを解決していく政策制度課題への取り組みも、2019年は重要な局面を迎えます。国政の場においては、電機連合組織内議員である「石上としお」参議院議員が、この5年間、電機産業で働く者の代表者として、活動してきました。また地方自治体行政の場においては、電機連合神奈川地協組織内議員5名、協力議員2名で構成される「いちょう会」が県下の各地方議会の場において活動してきました。

「石上としお」参議院議員ならびに「いちょう会」議員各位に、これからも私たちの代表として活動を続けていただくためにも、電機連合神奈川地協は全力で活動を応援してまいります。

最後に、2019年も神奈川地協としては、「社会に貢献し 働く仲間をサポートする 運動をめざして」の方針のもと、県下における主力産別組織として、その「役割と責任」を果たすとともに、加盟労組の「力と知恵」を合わせ、「組合員の期待と信頼」に応える運動を展開します。そして「障がい福祉活動」にみられる神奈川地協らしさをさらに伸ばしていくことを誓うとともに、組合員ならびにご家族の皆様のご健勝・ご多幸、さらには各労組のご発展を祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

電機連合中央執行委員長 2019年新春の挨拶



中央執行委員長 **野中 孝泰**

明けましておめでとうございます。新年をご家族の皆さまと健やかに迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の干支

今年の干支は「己亥(つちのと・い)」です。「己(つちのと)」は、草木が生長を終えて姿が整った状態を表し、「亥(い)」は、草や花が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれ、種の中にエネルギーがこもっている状態を表すそうです。その2つが重なる己亥の年には、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階をめざす準備をするという意味があるようです。

今年は、連合結成30周年、全労生結成60周年、そしてILO結成100周年の年です。労働組合の存在意義

について見つめ直す良い機会にしたいと思います。新たな時代の創造に向け、自らの力をつけて、主体性を持って挑戦する年にしたいものです。

持続可能な社会に向けて

日本が抱える最も大きな課題は、人口減少・少子高齢化が進む中で、持続可能な社会をいかに再構築するかだと思います。これからの30年間で生産年齢人口が約3割減少するという労働力喪失時代を迎えます。長時間労働の是正を含む働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現、非正規雇用問題をはじめとする雇用の質の向上や女性・高齢者の雇用促進などによる就業率の向上などを通じて、「社会全体の付加価値の向上」と「個々人の所得向上」に取り組む必要があります。また、社会保障制度の給付と負担の在り方についても再構築が必要です。

さらに、第4次産業革命による技術革新を、社会全体の生産性向上に結びつけなくてはなりません。しかし

このことは同時に、産業構造や就業構造の変化のみならず、私たちの生活や働き方に大きな変化をもたらすことが想定され、このことに備える必要があります。

めざす社会像としてSociety5.0(ソサエティ5.0)が示されていますが、視点として「人を中心に据えた社会」が大事だと思っています。

今年は、生産性向上論議がより活発になると思いますが、「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正な分配」という生産性運動に関する三原則を日本社会共通の価値観にすることが大事です。そして「働くことの尊厳」や「働きがい」をより重視しなければならないと思います。日本が世界に誇れる強みは「人」です。従って、「人が持っている無限の可能性をいかに引き出すのか、その環境をどう創るのか」を労使で、またテーマによっては政労使で徹底して議論する必要があります。「働きがい向上と会社・社会の永続的な発展の好循環」をめざしたいと思います。

石上としお必勝に向け、電機連合の総力結集を!

世界で進む、自国最優先の保護主義、国際的秩序の揺らぎ、合意形成機能の低下、さらには分断社会。これらを対岸の火事にはしてはならないと思います。日本の民主政治の危機に、国民として、労働組合として行動を起こすことが求められています。国民の多様な価値観、いろいろな意見を認め合いながら、衆知を集め方向性を決めていく、民主的な運営による日本の政治の実現は、私たち共通の願いだと思います。

「石上としお」は、私たちと同じ目線を持った電機産業の代表です。これまでの5年間、職場の声を全力で聞き、国政の場に全力で届けてきました。その経験と実績を踏まえ、私たちの声の代弁者として引き続き活躍してもらいたいと思います。それぞれの職場で組合員一人ひとりとの対話を、「石上としお」に成り代わって、丁寧に進めていただくことをお願いします。

第19回 統一地方自治体選挙 電機連合神奈川地協 組織内公認候補

投票日 4月7日(日) 政令指定都市(横浜市会・川崎市議会・相模原市議会)、神奈川県議会

横浜市会 戸塚区



坂本 勝司

日立労組ソフト支部
国民民主党 現2期

川崎市議会 中原区



松井 たかし

富士通労組
プロダクトグループ
国民民主党 現1期

相模原市議会 中央区



森しげゆき

日本電気労組
中研・神奈川支部
無所属 現3期

県議会 相模原市緑区



長友 よしひろ

協力議員
国民民主党 現3期

県議会 横須賀市



大村 博信

協力議員
国民民主党 現4期
自動車総連

助け合い、思いやり、あなたに寄り添う電機共済

電機連合 **ねんきん共済・悠々プラン**

2つの積立年金制度

ライフステージにあわせた資金作り!

2019年度
予定利率

1.25%
年率

(生保は野村證券の予定利率)




石上としおさんの政策を応援しよう!

全力で聴く。全力で届ける。全力で挑む。

産 業：電機産業の力で魅力あふれる未来をつくります。
職 場：誰もがイキイキと働ける職場をつくります。
暮 ら し：将来にわたって安心して暮らせる社会をつくります。

f 石上としお
toshio_ishigami

石上さんの政策に関する情報はこちらから
石上としお.com 検索

